

### 谷口紘也さん、市に絵画を寄贈



▲正面玄関横の展示コーナーに展示の絵画(左)、谷口さん(右)

阿万在住の画家谷口紘也さんから油絵3作品が市に寄贈され、このほど川野副市長から谷口さんに感謝状が手渡されました。  
寄贈された油絵は「玉藻前 職袂三段目」など淡路人形浄瑠璃の場面を描いた作品となっています。  
1作品は議長室に、2作品は市役所本館正面玄関となり展示コーナーに展示されています。是非、市役所にお越しの際はご覧ください。

### 大谷消防団長に感謝状



▲大谷消防団長(中央)、岸谷兵庫県消防協会長(右)

(公財)兵庫県消防協会副会長として県内の消防力強化に尽力された南あわじ市消防団長の大谷毅さん(倭文)に対し、兵庫県消防協会岸谷会長より感謝状が授与されました。  
大谷団長は、昭和62年12月に旧緑町消防団に入団以降、消防団員として消防活動に積極的に取り組んでこれ、平成26年に南あわじ市消防団長に就任されてからも先頭に立って市の地域防災力向上に大きく貢献されています。

### 福良まちづくり推進協議会が国土交通大臣表彰を受賞



▲受賞を喜ぶ原会長(左)と中田市長

南海トラフ巨大地震発生などを想定した防災対策に取り組む福良自治会などでつくる「福良まちづくり推進協議会」が、その取り組みを評価され、まちづくり功労者国土交通大臣表彰を受賞しました。同協議会の原孝会長が6月25日、市役所を訪れ中田市長に喜びを報告しました。  
同賞は魅力的なまちづくりの推進に功績のあつた個人や団体などを対象に毎年国土交通大臣が表彰するものです。

### 淡路手延素麺組合、小学生に素麺を配布



▲岡田教育長に素麺を手渡し森崎理事長(中央)と村上さん(右)

淡路手延素麺組合では「そうめんの日」にあたる7月7日、市内16小学校の児童や教員ら約2800人に素麺を配布しました。  
福良地区は昔から素麺づくりに適した気候で、冬に仕事が少ない漁師たちの副業として始まり、今も昔ながらの手延べの製法で本物の素麺を作り続けています。  
児童に配布された袋には素麺1袋(3束入り)と素麺に関するパンフレットが一緒に詰

められていました。パンフレットは素麺の作り方やゆで方のほか、歴史についても学べる冊子となっています。低学年の子どもたちも読んでもらえるように全ての漢字にふりがなを振っています。  
小学生に素麺を配布した後の7月13日、岡田教育長へ報告に訪れた同組合の森崎英毅理事長(福良)は「子どもたちに福良地区が素麺の産地であることを知ってもらえるとうれしい」と話しました。

### 吉備国際大学からのお知らせ

- ◆「ナルトオレンジ」の情報提供についてのご案内  
吉備国際大学地域創成農学部では、今年度より「淡路特産「ナルトオレンジ」の六次産業化に向けた総合研究」プロジェクトを立ち上げています。  
取組の一環として、現在、ナルトオレンジの生産・栽培状況、過去の経緯など、六次産業化に必要な基礎情報を収集しています。ナルトオレンジの生産・加工・流通に関わっておられる方(かつて関わっておられた方)、ぜひ情報をお寄せいただけますようお願いいたします。
- 「子ザル」駅長と鉄道の再生  
▽日程 8月19日(水)  
▽講師 松本孝徳先生(ステジック・コンサルティング台同会社代表執行役社長/元北条鉄道副社長)  
▽内容 事業再生のプロが、第三セクター鉄道の北条鉄道の子ザル駅長誕生時のフイバーぶりを仕掛ける戦略を公開。地方再生のヒントを教えてください。
- 共通  
▽時間 午前10時～11時30分  
▽申込 希望日と氏名、年齢、住所、電話番号をご連絡ください
- 同大地域連携センター  
☎42・4708
- E-mail: moino@kui.ac.jp
- ◆オープンキャンパス  
▽内容 学食無料体験、学科説明、授業体験、入試相談、AO面談ほか  
▽日時 8月22日(土)  
午前11時～午後4時  
▽場所 同大学南あわじ志知キャンパス  
●同大地域連携センター  
☎0120・25・9944

### ふれあい市長室 日ごろからの消防・防災活動、地域づくりへの熱い想いに感謝

7月12日、第11回南あわじ市消防操法大会を開催しました。各地区の予選を勝ち抜いてこられた精鋭の皆さんが入場される姿に感動するとともに、消防団の方々が、仕事をもちながら、市民の安心・安全のために活動・訓練をいただいていることに心から感謝申し上げます。  
県では、平成26年3月に発表された「津波防災インフラ整備5箇年計画(暫定版II)」に防潮堤等の沈下対策、防潮水門の耐震対策等を追加した「津波防災インフラ整備計



▲海に向かってテープカットを行う関係者ら

画」を策定しました。重点整備地区に挙げられている福良港・阿万港・沼島漁港の整備等を引き続き国・県とともに推進してまいります。更に、市では、県にも提案させていただき、命を守る住宅の耐震化推進のため、防災ベッド等設置促進事業、住宅建て替え補助などの支援を本年度から新たに設けました。また、万一の備えとしては、兵庫県住宅再建共済(フエニックス共済)があります。「小さな負担で大きな支援」を受けることが出来る制度ですので、是非積極的にご加入下さい。  
さて、7月には各地での海開きに出席させていただきました。地元の方々から、お話しをうかがっておりますと、その観光や地域づくりに対する夏の日差しにも負けない熱い想いに触れ、感動・感心させられることも多々あります。出来るだけ多くのお客様に南あわじのきれいな海や地元